

2024年3月期

ソフト99コーポレーション

決算説明会

2024年5月29日

- 本資料には、将来に関する見通し、期待、判断、計画あるいは戦略が含まれております。この将来予測に基づく記載や発言は、製品の需要変動、景気動向、天候およびその他のリスクや不確定要素を含みます。
- 本資料に含まれる全ての将来的予測に基づく記載や発言は、資料の作成時点で入手可能な情報に基づいており、私たちは、このような将来予測に基づく記載や発言を更新する義務を負いません。
- またこの記載や発言は、将来の実績を保証するものではなく、実際の結果が私たちの現在の期待とは実体的に異なる場合があります。このような違いには、多数の要素が原因となりえます。

I : 企業グループの概要	P.3
II : 経営成績の推移について	P.6
III : 事業の概況	P. 9
IV : 第7次中計に基づく取り組み	P. 19
V : 通期業績予想と配当予想	P. 27
Appendix: 計数資料	

I : 企業グループの概要

I : 企業グループの概要(会社概要)



株式会社 ソフト99コーポレーション

創 立 … 1954年10月28日

主要事業 … 自動車用・家庭用ケミカル用品の製造販売

機能性精密多孔質体製品の製造販売

従業員数 … 811名(2024年3月31日現在・連結)

関係会社 … 10社(当社含む連結対象企業)

当社主要製品の歴史

1969年
「ハンネリ」



1978年
「ボデーペン」



1987年
「タイネット」



1993年
「ぬりぬりガラコ」



1999年
「プラスセーヌ」



1999年
「フクピカwet」



2003年
「G'zoxシリーズ」



2006年
「メガネのシャンプー」



※ プラスセーヌ(旧 プラスセーム)は鐘紡株式会社より1963年に発売、事業譲渡にて1999年より当社グループによる製造販売を開始。

I : 企業グループの概要(事業セグメント概要)

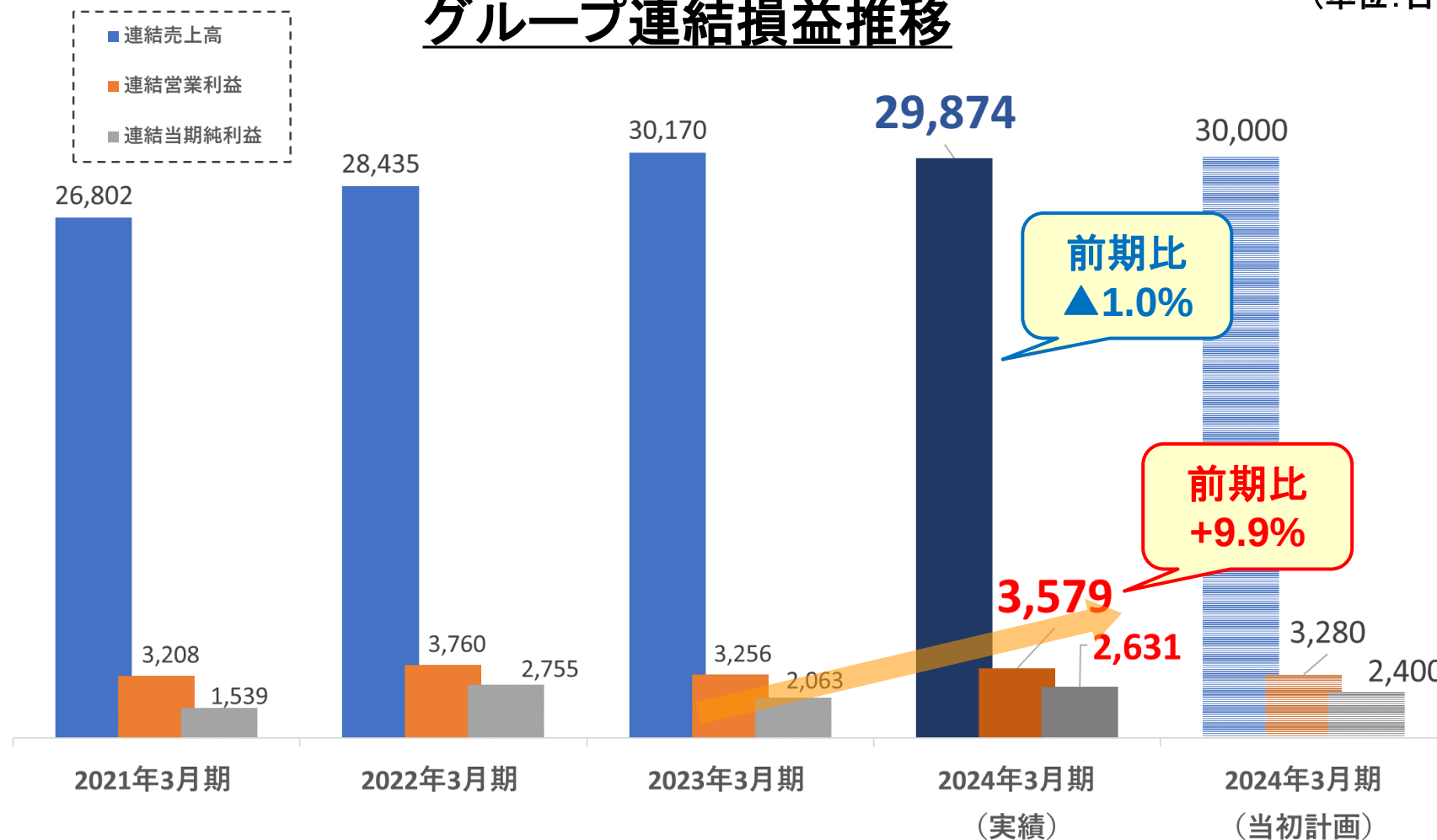
事業セグメント	サブセグメント		
① ファインケミカル 自動車用・家庭用ケミカル用品の製造販売	一般消費者用製品（自動車向け）		祖業
	業務用製品（自動車向け、その他産業向け）		
	家庭用品等製品		横展開による 事業領域拡大
	海外事業		
	タイヤ空気圧監視装置 企画・開発・販売		
	電子機器・ソフトウェア開発		
② ポーラスマテリアル 機能性精密多孔質体製品の製造販売	産業資材	ハイクテク産業向け精密洗浄・研磨・ろ過用途施品	M&Aによる 事業領域拡大
		医療・衛生用品用途	
	生活資材	自動車、キッチン、化粧、スポーツ等用品	
③ サービス	自動車整備・鈑金		
	自動車教習		
	生活用品等企画販売		
④ 不動産関連	不動産賃貸		保有資産の 収益化
	温浴施設運営・介護予防支援		

Ⅱ：経営成績推移について

Ⅱ：経営成績推移について（連結損益）

（単位：百万円）

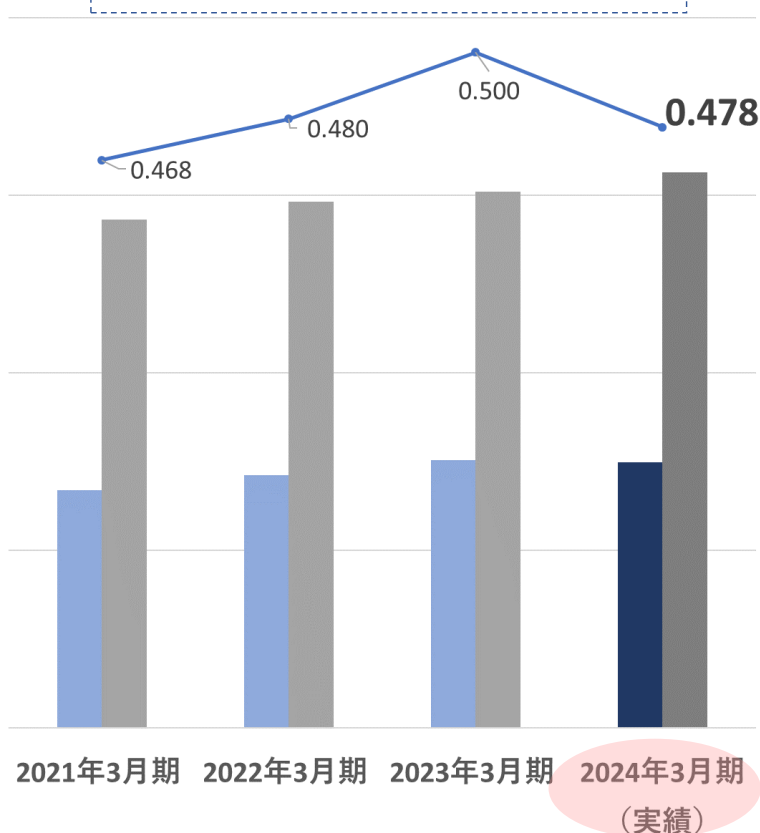
グループ連結損益推移



Ⅱ：経営成績推移について(主要経営指標)

総資産回転率

■ 連結売上高 ■ 連結総資産 ◆ 総資産回転率

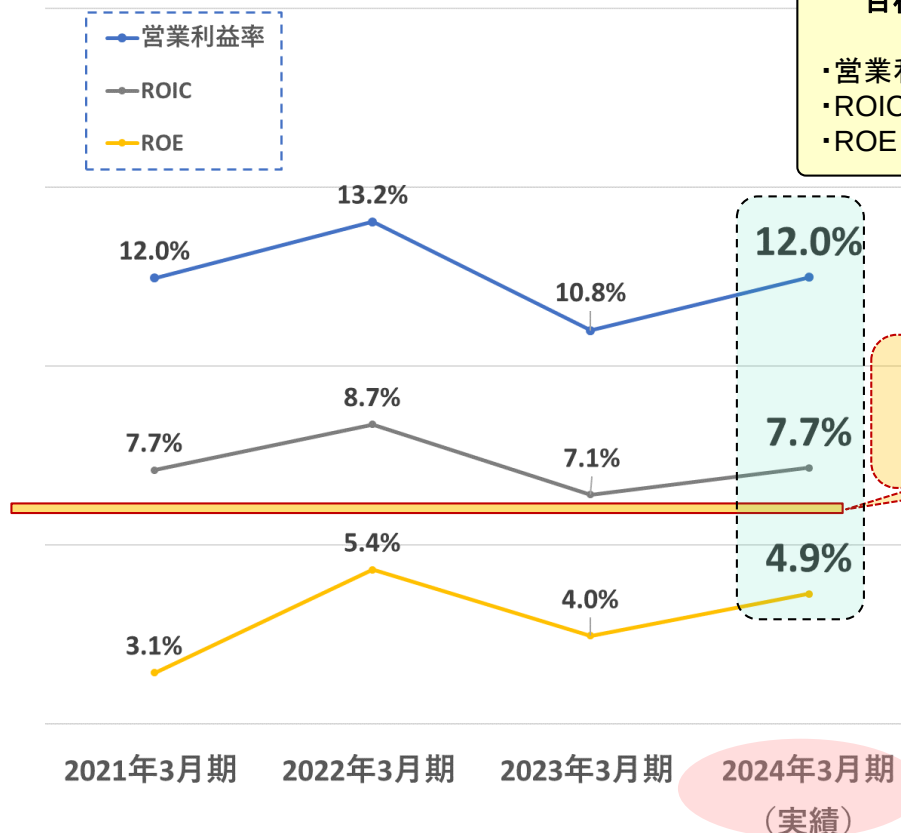


第6次中期経営計画

第7次中期経営計画

連結営業利益率・ROE・ROICの推移

◆ 営業利益率
■ ROIC
◆ ROE



2024年3月期
資本効率指標
目標(期初設定)

- ・営業利益率・・・10.5%
- ・ROIC……………7.1%
- ・ROE……………4.4%

7次中計における
資本コストは
5.5～6.0%を想
定

第6次中期経営計画

第7次中期経営計画

※ ROIC＝税引き後営業利益÷事業投下資本

・税引き後営業利益＝営業利益×(1－実効税率30%)

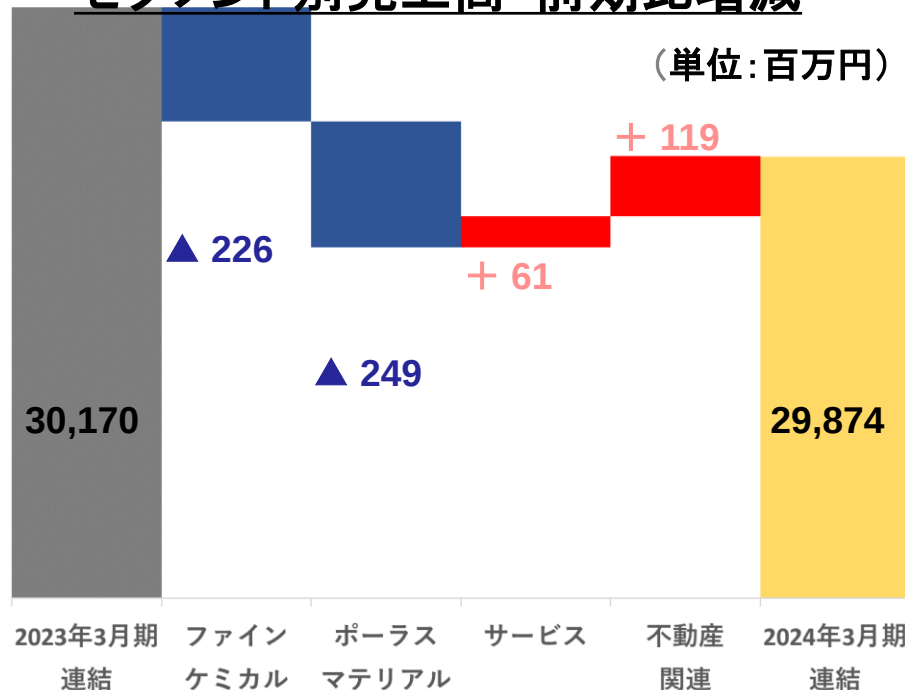
・事業投下資本＝(流動資産－現預金－有価証券)－流動負債＋(固定資産－保有社債)

Ⅲ：事業の概況 (2024年3月期)

Ⅲ：事業の概況（セグメント別 損益増減 前期比較）

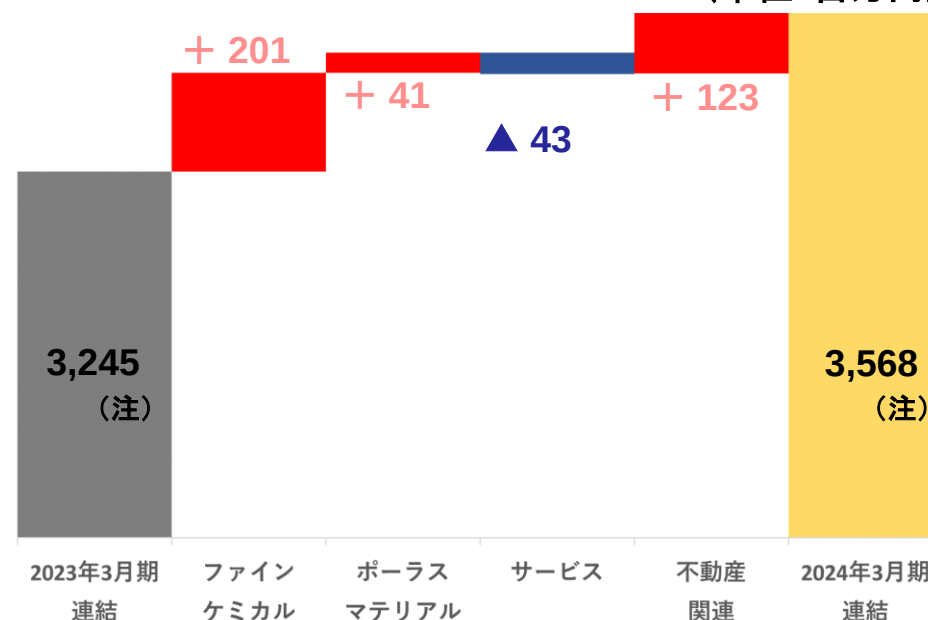
セグメント別売上高・前期比増減

（単位：百万円）



セグメント別利益・前期比増減

（単位：百万円）



（注）連結調整額除く

■ サービス・自動車整備钣金事業、不動産関連・温浴事業が伸長するも、ファイン一般消費者向け製品販売、ホームプロダクト、ポーラスマテリアル・産業資材半導体関連向けの販売減少をカバーできず減収となる。

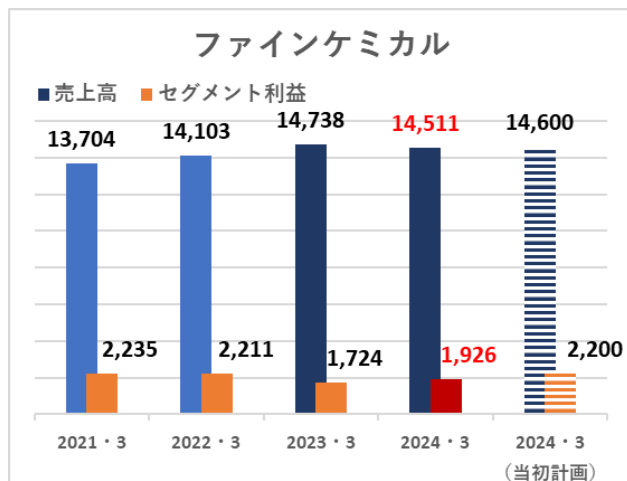
■ ファインケミカル一般消費財・業務用の値上げによる原価率改善や広告戦略見直しによる費用の圧縮、またポーラスマテリアルにおいて、生産現場の稼働率が正常化し前期に発生していた超過労務費が減少し原価率悪化を最小限に留めたことや温浴事業において施設の稼働が好調に推移したことで原価率が改善したことなどを要因に増益となる。

Ⅲ：事業の概況（セグメント別 損益推移）

セグメント別損益推移

（注）セグメント利益は連結調整額除く

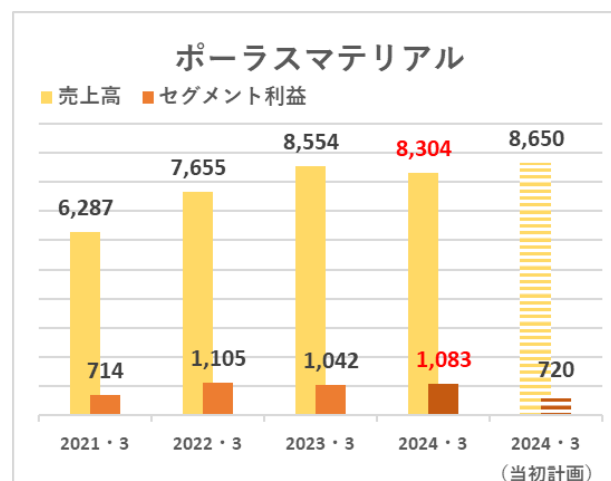
（単位：百万円）



第6次中期経営計画
“Overtake!!”

第7次中期経営計画
“Evolve!!”

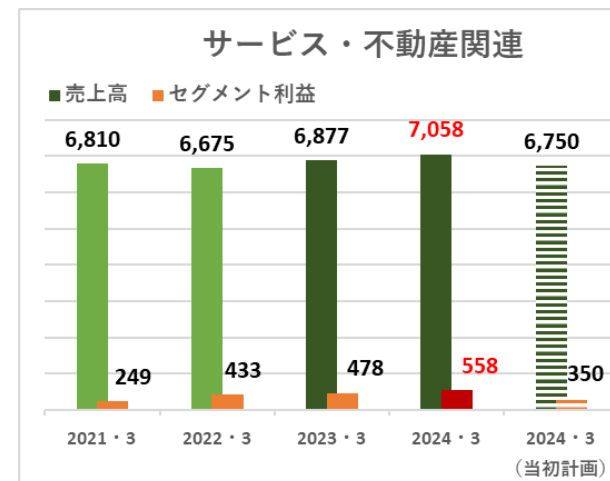
- 新車販売の好調を受けて業務用が伸長するも、メガネケア製品が低調に推移したことやガラスケアなどの消費材が苦戦。売上高は前年・計画を下回る。
- 値上げによる原価率の改善と併せて、広告戦略の見直しによる費用の圧縮などにより、利益面は前年実績を上回る。



第6次中期経営計画
“Overtake!!”

第7次中期経営計画
“Evolve!!”

- 産業資材において得意先の生産調整などを要因に半導体関連の出荷が減少したことや、医療において大口案件の検収が後ろ倒しとなったことで売上高は、前年・計画を下回る。
- 設備投資に伴う償却費が増加したものの、生産現場において稼働率が正常化し前期に発生していた超過労務費が減少し原価率悪化を最小限に留めたことで利益面は前年・計画ともに上回る。



第6次中期経営計画
“Overtake!!”

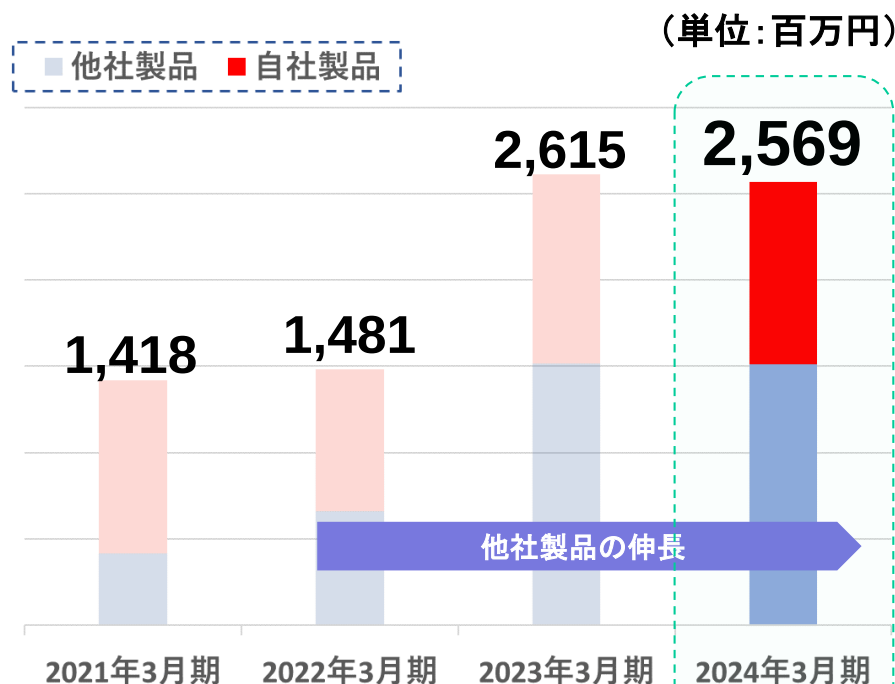
第7次中期経営計画
“Evolve!!”

- レジャー需要回復を背景に温浴の来場客数が増加したことや自動車整備钣金事業が好調に推移したことで前年・計画ともに上回る。
- 温浴、自動車整備钣金事業が好調に推移したことで、生協向けの販売減少をカバーし、前年・計画ともに上回る。

Ⅲ：事業の概況(ファインケミカル：海外製品販売)

- 現地のニーズに合った製品展開が奏功し、南米エリアや欧州エリアが伸長するも、東アジア、東南アジアが在庫調整のため苦戦し、前年実績を下回る。

99製品・他社製品 売上推移



第6次中期経営計画 “Overtake!!”

第7次中期経営計画 “Evolve!!”

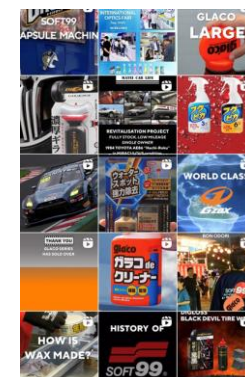
EU圏内における現地法令に対応した現地語パッケージを推進



現地語
表記対応



各エリアでのSNS活用による認知度向上



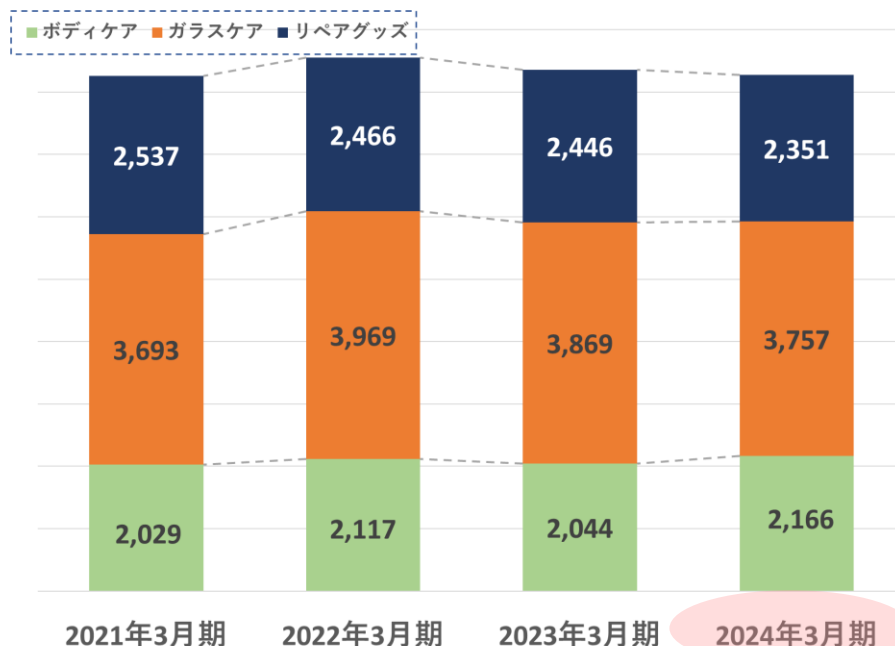
Ⅲ：事業の概況（ファインケミカルセグメント：一般消費者向け製品販売）

- ボディケアにおいては、レインドロップトルネードヴォルテックスの販売開始や足回り製品の伸長があったものの、リペア製品やガラスケアの販売減少をカバーできず前年実績を下回る。

一般消費者用製品 売上推移

（単位：百万円）

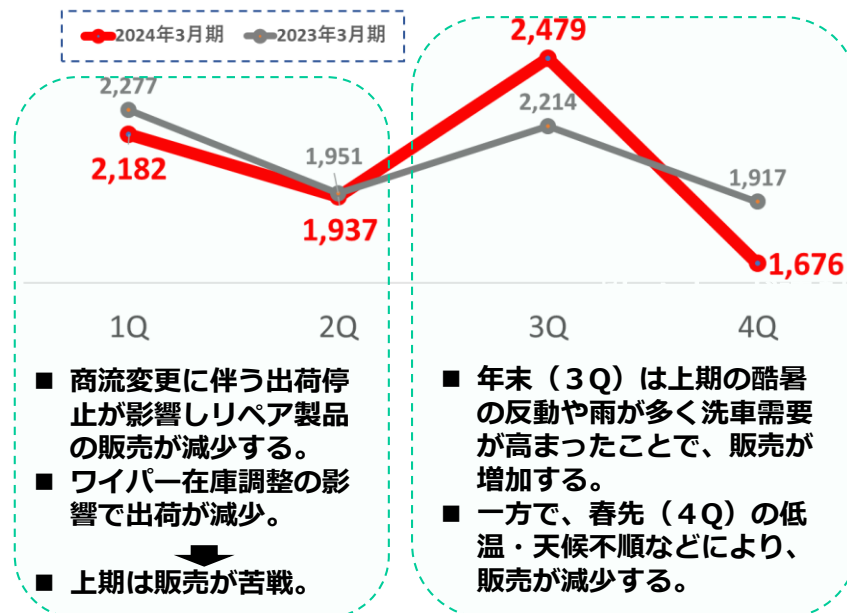
一般消費者向け製品販売年度推移



第6次中期経営計画 “Overtake!!”

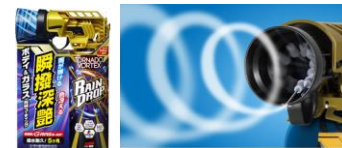
第7次中期経営計画
“Evolve!!”

一般消費者向け製品販売四半期推移（前期対比）



- 商流変更に伴う出荷停止が影響しリペア製品の販売が減少する。
- ワイパー在庫調整の影響で出荷が減少。
- 上期は販売が苦戦。

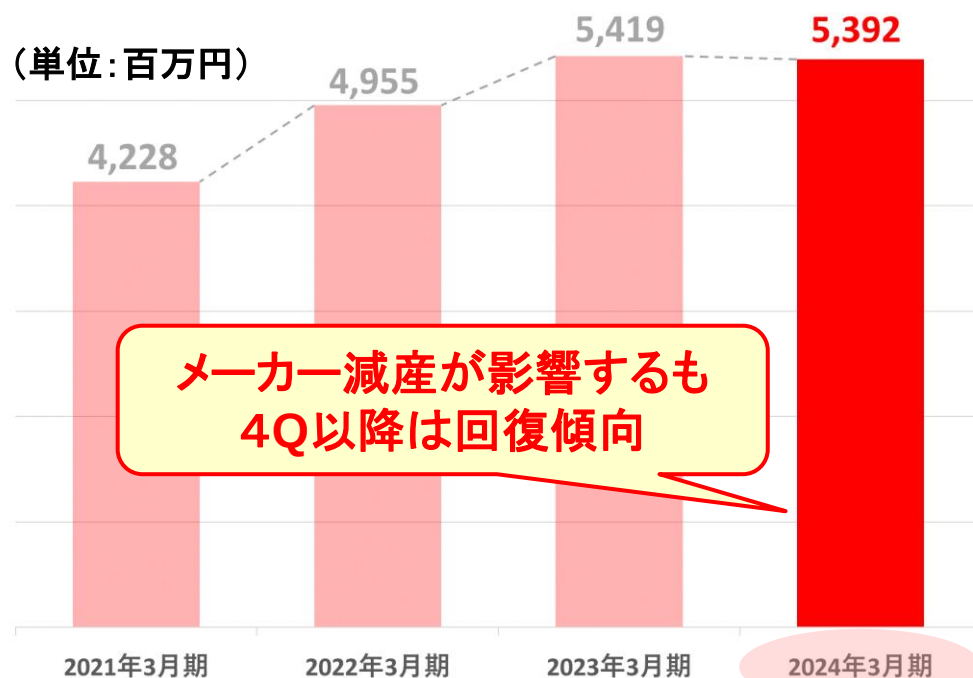
- 年末（3Q）は上期の酷暑の反動や雨がも多く洗車需要が高まったことで、販売が増加する。
- 一方で、春先（4Q）の低温・天候不順などにより、販売が減少する。



Ⅲ：事業の概況（ポーラスマテリアルセグメント 産業資材・デジタル）

- フィルター・プリンター用途が堅調に推移するも、メーカーの減産影響を受け半導体などのデジタル関連向け製品が苦戦、第4四半期から回復傾向が見られたものの、これまでの減少分をカバーできず、前年実績を下回る

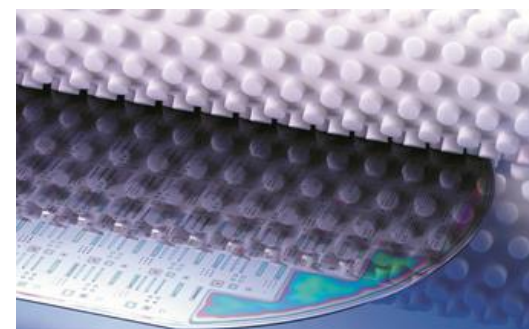
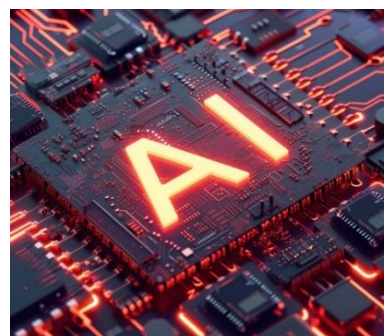
産業資材 売上推移



第6次中期経営計画 “Overtake!!”

第7次中期経営計画
“Evolve!!”

半導体をけん引するAI向け需要を取り込み産業資材は、回復傾向



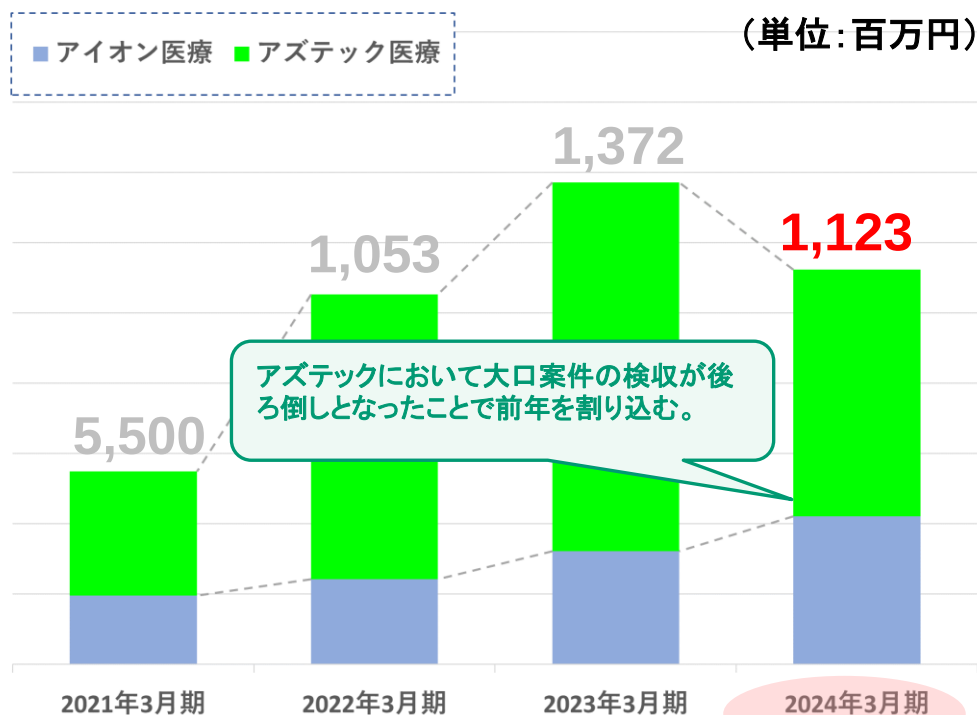
注力分野の生産拡大を見越した設備投資を推進。



Ⅲ：事業の概況（ポーラスマテリアルセグメント 医療）

- PVAスポンジの医療用途展開は順調に拡大しているものの病院施設向けの設備販売において大口案件が後ろ倒しとなり、前年実績を下回る。

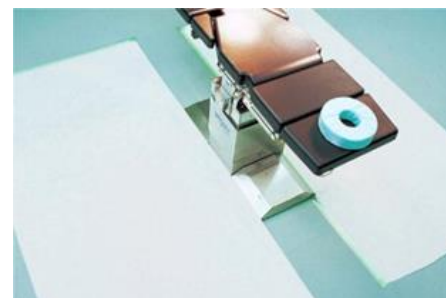
産業資材 売上推移



第6次中期経営計画 “Overtake!!”

第7次中期経営計画
“Evolve!!”

アズテック: 病院施設向け販路を活かし新たな提案を推進。



アイオン: PVAスポンジの医療用途開拓と営業強化



アメディフ 口腔ケアキット

Ⅲ：事業の概況（ファインケミカル：業務用・サービス：自動車整備钣金事業）

- 新車販売の好調などを背景にコーティング、フィルム施工などの美装関連需要が増加、ファインケミカル業務用販売・サービス自動車整備钣金事業の美装が伸長する。

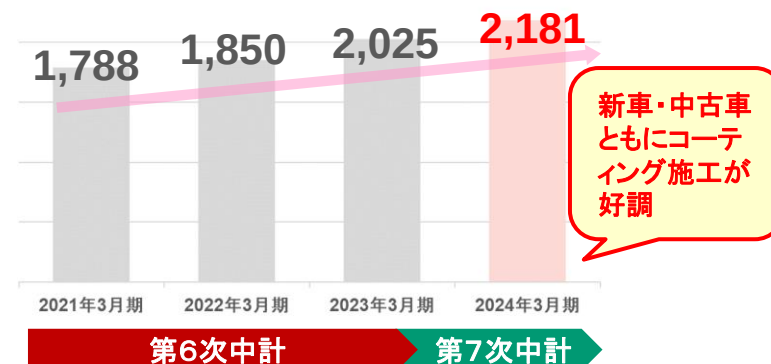
新車販売台数推移



一般社団法人 日本自動車販売協会連合会 WEBサイト(<http://www.jada.or.jp/>)より、新車販売台数(普通・小型乗用車)データを集計

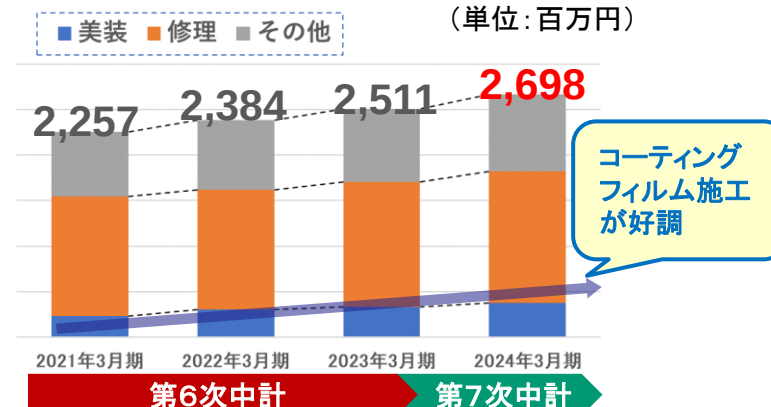
業務用製品 売上推移

(単位: 百万円)



自動車整備钣金 売上推移

(単位: 百万円)

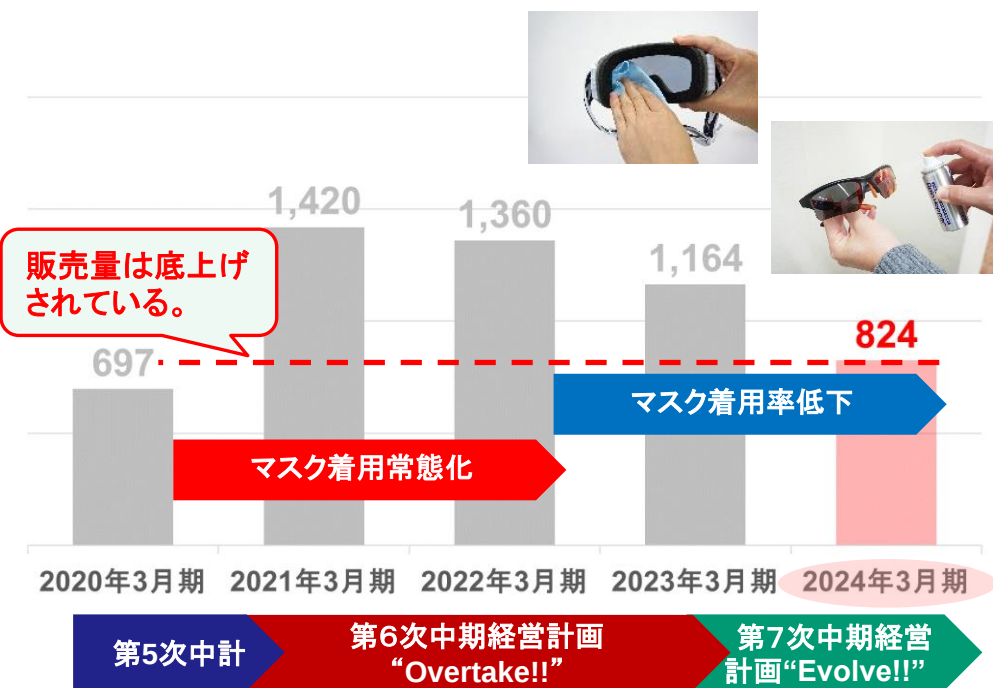


Ⅲ：事業の概況 (ファインケミカル：ホームプロダクト サービス：生活用品企画販売事業)

- コロナ禍において急速に需要が拡大したサブセグメントは、日常に戻ったことで特需が収束。
- ホームプロダクトはマスク着用率低下を受けて出荷が落ち着くも着実に底上げが図れる。
- 生活用品企画販売事業は通販需要の縮小を受けて特需が収束する。

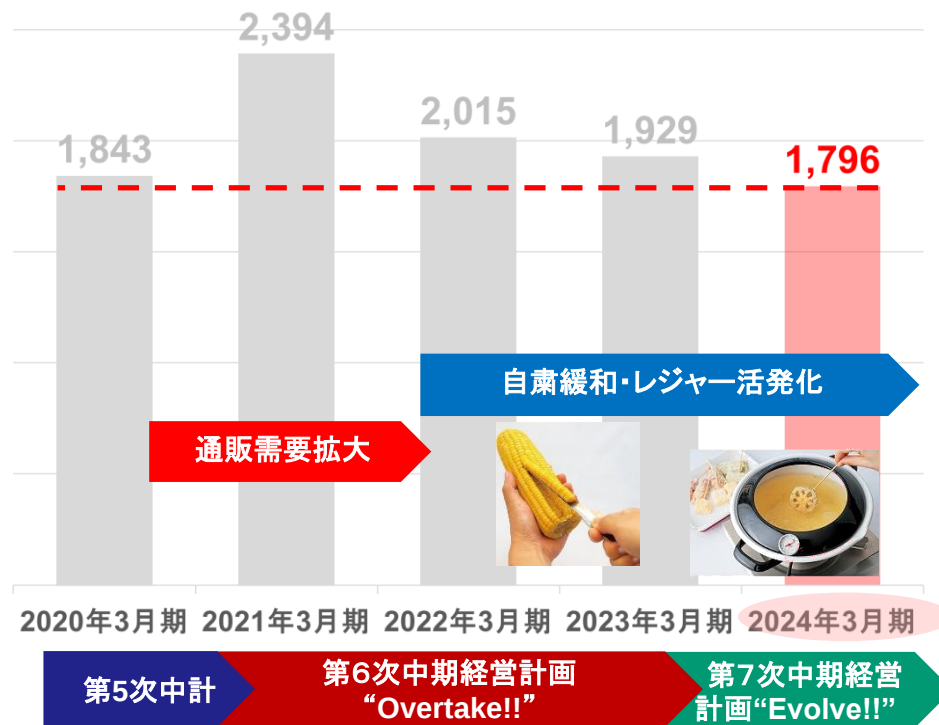
ホームプロダクト 売上推移

(単位：百万円)



生活用品企画販売事業 売上推移

(単位：百万円)

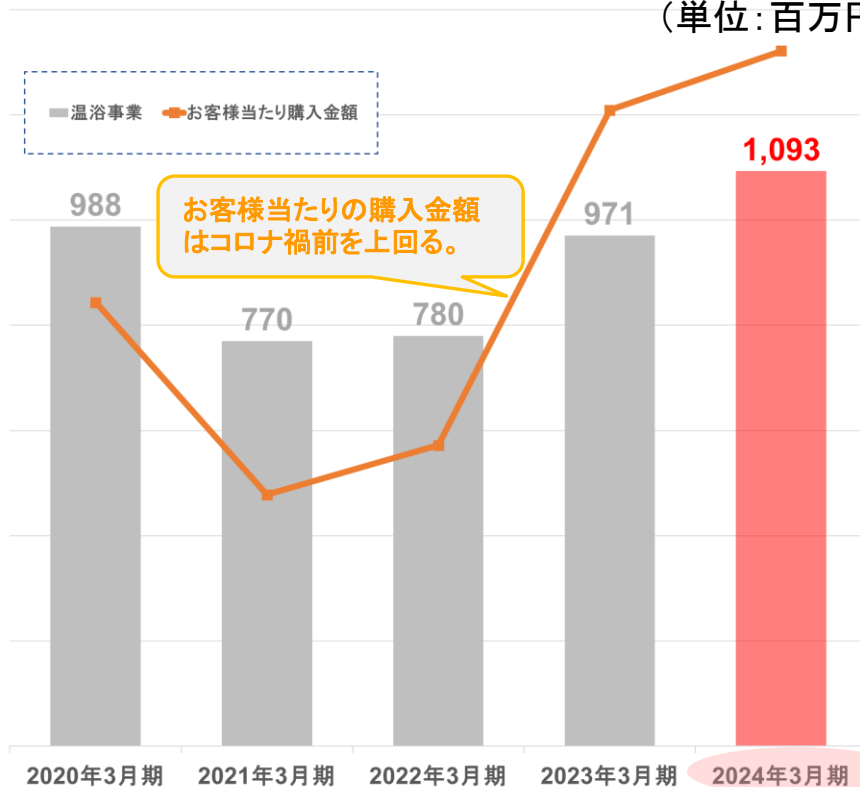


Ⅲ：事業の概況（不動産関連：温浴事業）

- レジャーの需要回復により来店客数が増加する。また、飲食の利用も好調に推移したことで前年実績を上回る。

温浴事業 売上推移

（単位：百万円）



第5次中計

第6次中期経営計画
“Overtake!!”

第7次中期経営計画
“Evolve!!”

集客イベントの強化



2024年3月31日で尼崎店を閉店。IR・インバウンドを見越した施設へと生まれ変わる予定。



Ⅳ：第7次中計に基づく取り組み

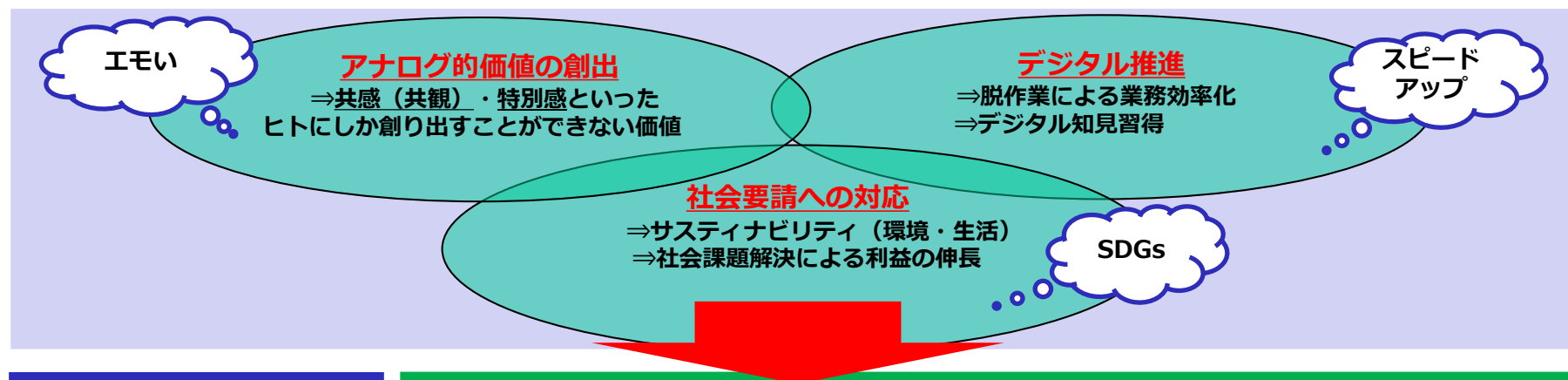
IV：第7次中計に基づく取り組み(第7次中計テーマ・ビジョン)

経営理念

生活文化創造企業
～未来のあたりまえを発見する。～

中計テーマ

Evolve!!
～進化せよ!!～



経営ビジョン

デジタルを活用し、心揺さぶられるアナログ的(エモい)価値を創り出す『ヒト(人財)』を育て、その価値を通して社会課題の解決に貢献する。

IV：第7次中計に基づく取り組み（ファインケミカル：アナログ的価値）

- これまでになかった性能と見た目のインパクトでユーザーの『使ってみたい！』を引き出す製品の開発を推進、クラウドファンディングにてトライアル販売後、量産化を実施。

超デカマックスハイパーロングクロス



4mの巨大クロスでミニバンなどのルーフの高いクルマでも楽々拭き上げが可能です。

全長約4m



足回りケア 奥洗王（おくあらおう）



57センチの巨大ブラシでホイールの表面だけでなく奥まで届いて汚れをかき出します。

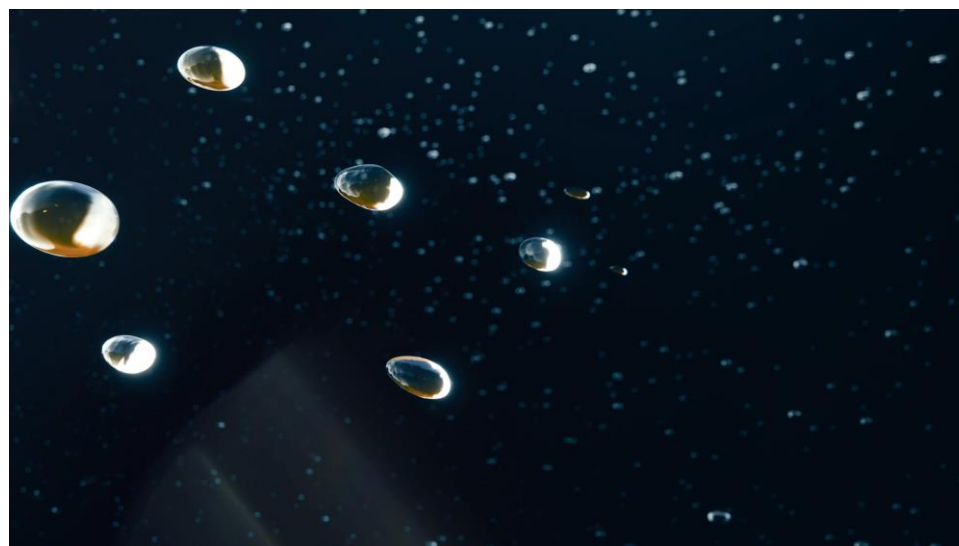


IV: 第7次中計に基づく取り組み (ファインケミカル 海外)

- エリアごとのニーズに沿ったローカライズ戦略を推進し、販売拡大を図る。
- 現地にてニーズに合わせたセット品、容量にカスタマイズすることで販売拡大につなげる。
- 欧州代理店とタイアップし、glacoのプロモーション動画を制作、現地でのブランド認知向上を図る。



現地にて充填



引用: Instagram soft99_europe
<https://www.instagram.com/p/C6MDxLotzMu/>

Ⅳ：第7次中計に基づく取り組み（ポーラスマテリアル 医療）

- アズテックよりオリジナル手術映像記録管理システム『AZ connect』の販売を開始。

- カメラによって手術中の映像を記録し外部と共有化。
- リアルタイムで映像に文字などを直接書き込む事ができ、的確な指示や解説をすることが可能。

術野カメラ

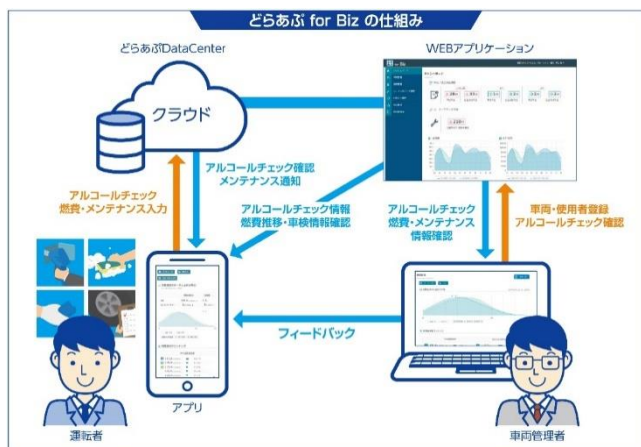


IV: 第7次中計に基づく取り組み(サステナビリティ 1/3)

- 車両管理クラウドサービス『どらあぷ for Biz』にCO2排出管理機能を搭載。



『どらあぷ for Biz』



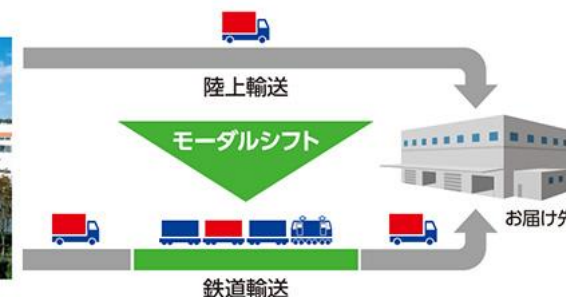
- 2024年問題を見据えたモーダルシフト推進



- CO2排出量の現状を確認、目標管理も可能。
- 個人や部署別のCO2排出量も確認可能。



三田工場



CO2排出量の低減を図る。

IV: 第7次中計に基づく取り組み(サステナビリティ 2/3)

- ブリスターフィルムを削減したパッケージや梱包資材を使わないことを念頭においたパッケージの開発により、プラスチックゴミの削減を推進。
- 化学物質の適正な使用による環境負荷低減。



一般用・業務用製品販売
有機フッ素化合物に対する将来の規制を見越した対応



自動車整備钣金事業: 水性塗料利用推進



SOFT99 autoservice

通常商品



液体コンパウンド
トライアルセットECO

※実寸サイズでの比較



パッケージに直接ラベルをはり配送するため、梱包材などの使用量を削減



IV: 第7次中計に基づく取り組み(サステナビリティ 3/3)

- 経営ビジョンに基づき、ソフト99グループで推進する『モノを長く大切にする取り組み』を発信。
- クルマを長く大切に乗り続けている方にフォーカスし、オーナーの思いを発信。
- 40年前のクルマを新車同様に『再生』させるプロジェクトを実行。

Episode1 お寺のクラウン



Episode2 父と娘のZ

くるままでいらいふ



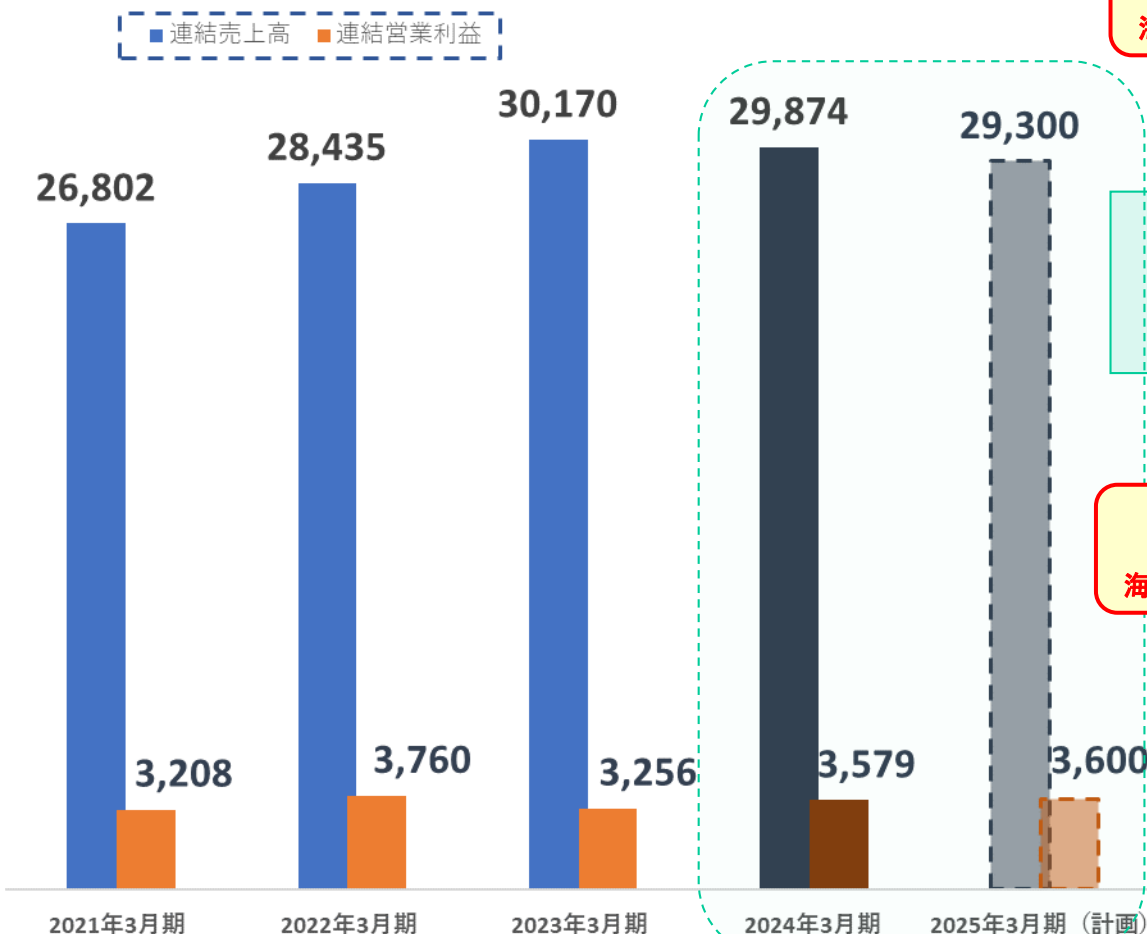
外装からエンジンまで全て『再生』するプロセスを発信中。



V : 通期業績予想と配当予想

V: 通期業績予想と配当予想 (通期業績予想1/2)

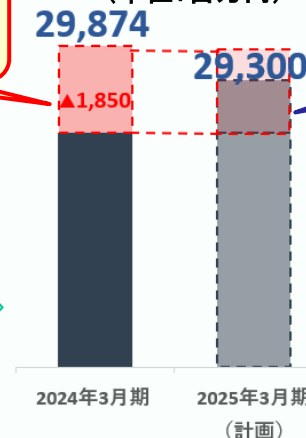
連結業績推移 (単位: 百万円)



温浴1店舗閉店
海外他社製品販売終了

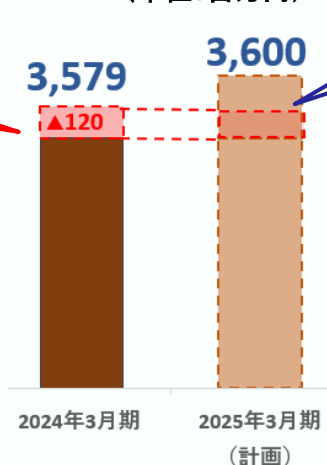
温浴1店舗閉店
海外他社製品販売終了

連結売上高予想 (単位: 百万円)



ファイン・ポラス
販売拡大を計画

連結営業利益予想 (単位: 百万円)



ミックス変化による
利益率改善を見込む

V: 通期業績予想と配当予想 (通期業績予想2/2)

- ファインケミカル一般・業務用、ポーラスマテリアル産業資材・医療分野の拡大により利益の伴う事業規模拡大を図る。

ファインケミカル



業務用: 製品ラインナップ拡充とサービス強化

G'ZOX
ガードグレイズ



一般消費者向け: 新たな領域への販路構築



EC強化



参考出品

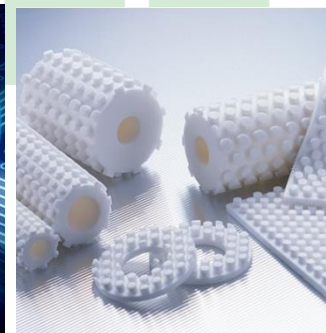
人手不足解決に資する販売提案強化。
『洗車用品自動販売機』



ポーラスマテリアル



産業資材: 人工知能・生成AI向け半導体需要の取り込み



医療: アズテック×アイオンシナジー追及による販売拡大

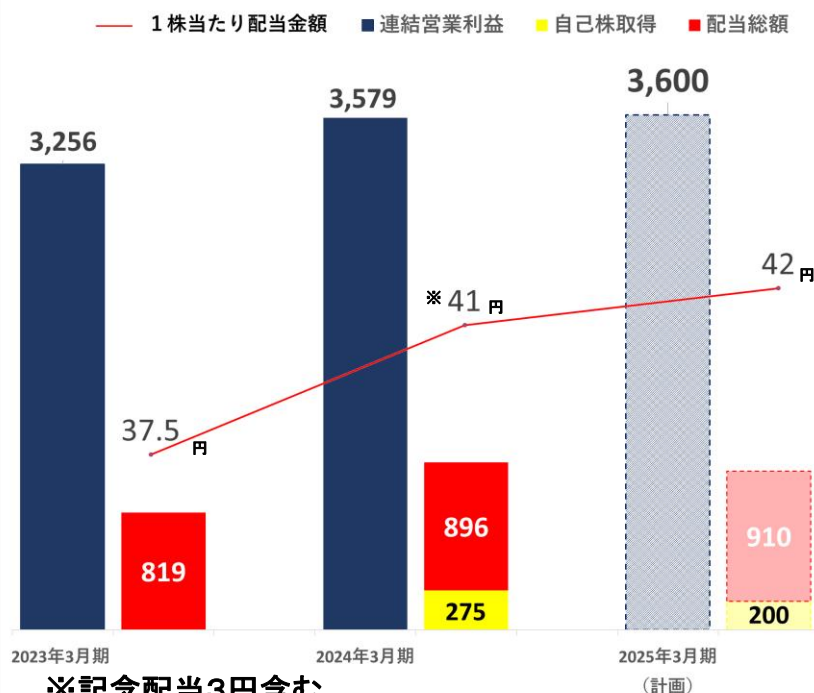


V：通期業績予想と配当予想（通期配当予想・株主還元総額）

- 2025年3月期配当は中間：21.0円/株、期末：21.0円/株 通期42.0円 前期比1円増配を予想。
- 上記配当と合わせて、7次中計に基づいて自己株取得を実施。（2年目計画：約2億円）
- 株主還元率については、営業利益対還元率が30.9%、配当性向が34.4%となる見込み。

（単位：百万円）

通期配当実績の推移と配当予想



単位 百万円	2023年 3月期	2024年 3月期	2025年 3月期 (予想)
連結営業利益	3,256	3,579	3,600
当期純利益	2,063	2,631	2,650
営業利益対還元率※	25.2%	32.7%	30.9%
配当性向	39.7%	34.1%	34.4%

※営業利益対還元率：連結営業利益 ÷ (配当総額 + 自己株取得額)

SEEK OUT INNOVATION

～ 未来の“あたりまえ”を発見する～



Appendix: 計数資料

要約連結貸借対照表(対前期末比較)

(単位:百万円)

	2023年 3月末	2024年 3月末	増減額		2023年 3月末	2024年 3月末	増減額
流動資産	29,990	31,673	+1,682	流動負債	4,176	4,328	+151
現金及び預金	20,124	21,468	+1,344	仕入債務	1,595	1,379	▲215
売上債権	4,705	4,869	+164	未払法人税等	466	709	+243
有価証券	0	300	+300	未払金・未払費用	1,417	1,449	+31
棚卸資産	4364	4579	+214	その他 (長期借入金含む)	696	789	+92
その他	796	454	▲341	固定負債	3,428	3,587	+158
固定資産	30,386	30,869	+483	負債合計	7,604	7,915	+310
有形固定資産	22,675	22,542	▲132	純資産	52,772	54,627	+1,855
無形固定資産	342	679	+336	株主資本	52,475	54,053	+1,577
投資その他の資産	7,368	7,648	+279	その他包括利益累計額	594	1,149	+555
資産	60,377	62,542	+2,165	負債及び純資産	60,377	62,542	+2,165

連結業績(損益:対前期比較)

(単位:百万円)

	2023年3月期 3月末	2024年3月期 3月末	対前年比 増減額	対前年比 増減率
売上高	30,170	29,874	▲295	▲1.0%
売上総利益	10,611	10,677	+66	+0.6%
売上総利益率	35.2%	35.7%	+0.5pt	-
販売費及び一般管理費	7,354	7,098	▲256	▲3.5%
営業利益	3,256	3,579	+323	+9.9%
営業利益率	10.8%	12.0%	+1.2pt	-
経常利益	3,440	3,782	+341	+9.9%
税金等調整前当期純利益	3,083	3,782	+699	+22.7%
親会社株主に帰属する当期純利益	2,063	2,631	+567	+27.5%

要約連結キャッシュフロー(対前期比較)

(単位:百万円)

	2023年3月期	2024年3月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,619	3,772
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 2,176	▲1,137
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 516	▲1,205
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	1
現金及び現金同等物の増加額(▲減少額)	▲72	1,430
現金及び現金同等物の期首残高	19,885	19,813
現金及び現金同等物の期末残高	19,813	21,244
減価償却費	802	969
設備投資額(※)	1,960	758

(※)有形固定資産の取得による支出

連結経営指標ハイライト(対前年比較)

(単位: 百万円)

	2023年3月期	2024年3月期	増減
総資産 (百万円)	60,377	62,542	+2,165
純資産 (百万円)	52,772	54,627	+1,855
自己資本比率	87.4%	87.3%	▲0.1pt
ROA (経常利益 ÷ 総資産)	5.8%	6.2%	+0.4pt
ROE (純利益 ÷ 純資産)	4.0%	4.9%	+0.9pt
総資産回転率 (売上高 ÷ 総資産)	0.5	0.48	▲0.02
1株当たり純利益 (円)	95.11	121.41	+26.30

ファインケミカル(損益:対前期比較)

(単位:百万円)		2023年3月期 通期	2024年3月期 通期	対前期比 増減額	対前期比 増減率
売上高		14,738	14,511	▲226	▲1.5%
	一般用製品:ボディケア	2,044	2,166	+121	+5.9%
	一般用製品:ガラスケア	3,869	3,757	▲111	▲2.9%
	一般用製品:リペアグッズ	2,446	2,351	▲95	▲3.9%
	業務用製品	2,025	2,181	+155	+7.7%
	家庭用品等	1,164	824	▲340	▲29.2%
	海外事業	2,615	2,569	▲45	▲1.7%
	TPMS(タイヤ空気圧監視装置)	161	238	+77	+48.0%
	電子機器・ソフトウェア開発	633	657	+23	+3.7%
	その他・調整	▲222	▲234	▲11	—
売上総利益		6,286	6,391	+104	+1.7%
	粗利益率	42.7%	44.0%	.+1.4pt	—
営業利益		1,724	1,926	+201	+11.7%
	営業利益率	11.7%	13.3%	+1.6pt	—

ポーラスマテリアル(損益:対前期比較)

(単位:百万円)			2023年3月期 通期	2024年3月期 通期	対前期比 増減額	対前期比 増減率
売上高			8,554	8,304	▲249	▲2.9%
	産業資材		6,791	6,515	▲276	▲4.1%
		国内	1,960	2,044	+84	+4.3%
		海外	3,454	3,348	▲106	▲3.1%
		医療	1,377	1,123	▲254	▲18.4%
	生活資材		1,762	1,790	+28	+1.6%
		国内	962	1,099	+138	+14.3%
		海外	801	690	▲110	▲13.8%
売上総利益			2,678	2,616	▲62	▲2.3%
粗利益率			31.3%	31.5%	+0.2pt	—
営業利益			1,042	1,083	+41	+3.9%
営業利益率			12.2%	13.0%	+0.8pt	—

サービス(損益:対前期比較)

(単位:百万円)		2023年3月期 通期	2024年3月期 通期	対前期比 増減額	対前期比 増減率
売上高		5,455	5,516	+61	+1.1%
	自動車整備・钣金事業	2,511	2,698	+186	+7.4%
	自動車教習所	1,013	1,021	+7	+0.7%
	生活用品企画販売	1,929	1,796	▲133	▲6.9%
売上総利益		1,351	1,295	▲56	▲4.2%
粗利益率		24.8%	23.5%	▲1.3pt	—
営業利益		226	183	▲43	▲19.2%
営業利益率		4.2%	3.3%	▲0.8pt	—

不動産関連(損益:対前期比較)

(単位:百万円)		2023年3月期 通期	2024年3月期 通期	対前期比 増減額	対前期比 増減率
売上高		1,422	1,542	+119	+8.4%
	不動産賃貸	414	411	▲3	▲0.7%
	温浴事業	971	1,093	+122	+12.6%
	介護予防支援事業	36	37	+0	+1.1%
売上総利益		294	374	+80	+27.4%
粗利益率		20.7%	24.3%	+3.6pt	—
営業利益		251	375	+123	+49.2%
営業利益率		17.7%	24.3%	+6.7pt	—

セグメント情報(セグメント別売上高・営業利益比較)

(単位:百万円)

売 上 高	2023年3月期	全体構成比率	2024年3月期	全体構成比率	対前期構成比増減
ファインケミカル	14,738	48.9%	14,511	48.5%	▲0.4pt
ポーラスマテリアル	8,554	28.4%	8,304	27.8%	▲0.6pt
サービス・不動産関連	6,877	22.8%	7,058	23.7%	+0.9pt
合 計	30,170	100.0%	29,874	100.0%	—

営 業 利 益	2023年3月期	全体構成比率	2024年3月期	全体構成比率	対前期構成比増減
ファインケミカル	1,724	53.0%	1,926	53.9%	+0.9pt
ポーラスマテリアル	1,042	32.1%	1,083	30.4%	▲1.7pt
サービス・不動産関連	478	14.8%	558	15.7%	+0.9pt
合 計	3,256	100.0%	3,579	100.0%	—

(※)合計には連結調整額を含む。